

令和4年度 農林水産業による創出額について

単位:億円

	R4 実績	前年増減	R5 目標
農林水産業による創出額	2,303	43 (+1.9%)	2,650
産出額	1,893	33 (+1.8%)	2,259
農業	1,245	17 (+1.4%)	1,534
林業	232	△ 13 (△5.3%)	240
水産業	391	29 (+8.0%)	462
新規需要米等	25	0 (0)	23
付加価値額	287	5 (+1.8%)	278
食品加工	169	8 (+5.0%)	167
木材加工	98	△ 3 (△3.0%)	89
直売所	20	0 (0)	22
交付金等	123	5 (+4.2%)	113
直接支払交付金	34	0 (0)	36
米政策交付金	89	5 (+6.0%)	77

○創出額:2,303億円(前年比 +43億円)

・産出額(前年比 +33億円)

農業:短期集中県域支援4品目の面積拡大が進む園芸や、若手生産者等による増頭が進む畜産において産出額が増加するなど、戦略会議の行動宣言が目指す園芸・畜産へのシフト等の改革が着実に進み、農業産出額も3年連続の増加

▶ねぎ ③ 71 → ④ 81億円(+10) 面積 ③ 983 → ④ 1,080ha(+97)

▶肉用牛 ③ 139 → ④ 153億円(+14) 肥育牛頭数③ 13.7 → ④ 14.0千頭(+0.3)

林業:木材生産では、ウッドショックによる木材価格高騰の落ち着きで産出額が低下したものの、直近20年で最高の素材生産量を記録

▶木材生産 ③ 189 → ④ 178億円(△11) 素材生産量③ 159 → ④ 167万m³(+8)

水産業:モジャコ不漁により養殖ブリの生産量が減少したものの、価格の高騰等もあり、水産業全体では前年比108%の伸び率で増加。養殖業は過去最高額を記録

▶【漁船漁業】イワシ類③ 14 → ④ 9億円(△ 5)

▶【養殖業】養殖ブリ類③ 195 → ④ 221億円(+26)

新規需要米等:堅調な海外需要から丸太輸出は前年並で推移

▶輸出丸太 ③ 18 → ④ 18億円(±0)

・付加価値額(前年比 +5億円)

▶食品加工における国産需要の高まりにより付加価値額が増加

・交付金等(前年比 +5億円)

▶米政策交付金が麦の面積拡大等により増加